

PDA山口県高等学校即興型英語ディベート交流大会 2019

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年11月16日(土) 13:00-17:00

会場：山口県立山口高等学校

参加校：7校(山口高校、下関西高校、下関南高校、徳山高校、萩高校、大津緑洋高校、防府高校)

参加者：生徒50名、教員10名

スタッフ：PDAスタッフ、九州大学

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)、山口県立山口高校

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団

開会式では、会場校の山口高校校長 栗林先生より、「この山口県高等学校即興型英語ディベート交流大会も3回目を迎えました。この大会に参加している生徒の皆さんは英語が好きで勉強していることと思います。英語の勉強において、4技能はとても重要です。4技能をバランスよく習得するのにこの即興型英語ディベートはとても有効だと思います。また、勝ち負けが存在するわけですが、ディベートが終わったら他校の生徒としっかり交流を深めて欲しいと思います。」とエールが送られました。

次に、PDA代表理事である中川智皓(大阪府立大学工学研究科准教授)より「部活で取り組まれている人は、その練習成果を大いに発揮してください。そして、今日は授業で即興型英語ディベートを学んだ生徒さんも多くいるとお聞きしています。即興型英語ディベートは、読み書きそろばんと同様に、今後、有すべき基本的な力となると思います。普段からの多方面での勉強の成果を、今日は他校の生徒さんと交わることでさらに深めてもらいたいと思います。」と挨拶があり、PDAスタッフより7校の学校紹介があり、各校生徒が起立・一礼をし、意気込みを述べました。その後、ルールの復習やPOIの確認を再度行いました。そして、早速1ラウンド目の対戦表が発表されました。



山口高校 栗林校長先生



POI(質疑応答)の練習

第1ラウンドのお題は「*Single-sex schools are better than co-educational schools.* (共学より男子校または女子校のほうがよい。)」でした。初めは緊張した雰囲気でしたが、実際にディベートが始まるとチームメイトと作戦を練りながら熱いディベートが繰り広げられました。勉強により集中できるのはどちらの環境なのかという点や、異性間理解がより育まれるのはどちらの環境なのかといった点についてお互いに具体例などを用いながら議論を行いました。第1ラウンドからとても白熱したディベートが繰り広げられました。ディベートが終わると、ジャッジの先生のコメントを真剣に書きとる様子が見られました。



準備時間①



準備時間②

続く第2ラウンドのお題は、「*Japan should have nuclear weapon.* (日本は核兵器を保有すべきである。)」でした。昨今の北朝鮮のミサイル発射や、日本・中国・アメリカの国際関係など、普段見聞きしているニュースなどの知識を織り交ぜながら、現在日本がおかれている状況について説明を行いました。中には、国連や常任理事国などについても触れながら日本が有事の際に国を守ることができる状態にあるのか否かなどについて議論しているチームもあり、非常に内容の濃いディベートとなりました。



Opposition の準備時間



POI で質問をします

そしてジャッジを務めた教員やスタッフがもう一度この人のディベートを見たいとエキシビジョンディベーターに推薦した6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「**Introduction of the private-sector test into the national university entrance examinations should be stopped.** (2020年度からの大学入試への民間試験の導入をやめるべきである。)」でした。「民間試験を導入すると、家庭の裕福さや住んでいる地域によって受験が難しい人が出てくるので不公平だ。全国を受験生が大学入試のために使うものだから平等なチャンスがあるべき。」という Government チームの主張に対し、「現在日本のセンター試験はリーディングが中心だから、外国人と話せるようになるために民間試験を導入すべきだ。」と Opposition は主張しました。お互いに POI を活用しながら相手の話をよく聞いて立論や反論を行いました。甲乙つけがたいディベートでしたが、エキシビジョンディベートを見学した生徒による投票で Government の勝ちとなりました。



聴衆を見て堂々とスピーチ



すかさず POI を行います

勝敗の理由を他の生徒を代表して説明した生徒は、しっかりと各スピーチを聞きながら Government のポイントの方が強い理由を整理し、論理立てて説明することができました。



勝敗の理由を自分の言葉で説明

閉会式では、山口高校教頭 白石先生より、「いつもの授業と違う活動に取り組み、脳をフル回転させ、疲れたという方もいるかもしれませんが、心地よい疲労感ではないでしょうか。このディベートは英語力を上げるのに有効だと思いますが、それだけではなく、相手の出方を読む力や相手の立場を考える力も養うことができると思います。何かをはじめから完璧にできる人なんていません。ぜひ練習を重ねてこれからも頑張ってください。」と労いのお言葉をいただき、第3回山口県高等学校即興型英語ディベート交流大会の幕が閉じました。



山口高校 白石教頭先生



集合写真

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- PM —— (大津緑洋)
- LO —— (防府)
- MG —— (大津緑洋)
- MO —— (徳山)
- LOR —— (下関西)
- PMR —— さん (山口)



〈チーム賞〉

- 1st 防府
- 2nd 大津緑洋 A
- 3rd 下関西 B
- 4th 大津緑洋 B
- 5th 徳山 B



〈ベストディベーター賞〉

- (下関西 B)
- (山口 B)
- (下関西 A)
- (山口 D)
- (大津緑洋 B)
- (大津緑洋 A)
- (徳山 B)
- (防府)
- (萩)
- (大津緑洋 B)
- (大津緑洋 A)
- (山口 C)
- (徳山 A)
- (山口 A)



〈POI賞〉

- (山口 A)
- (山口 C)
- (大津緑洋 B)
- (大津緑洋 A)
- (防府)
- (徳山 B)
- (大津緑洋 B)
- (下関西 A)
- (山口 C)
- (下関西 B)
- (山口 D)



参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- 他校の人と実際にディベートを行ったことがなかったので良い経験となった。もう一度やってみたい。【下関南】
- 初めて英語のディベート大会に参加したけど、良い経験ができてよかったです。自分でその場で考えて英語を発することは難しかったです。もっと英語力をつけて次参加できるようにしたいです。【下関南】
- 非常に短い時間で質の高い内容だった。しかし、時間が短いのが残念だった。もっと楽しみたかったし、交流の時間も欲しかったので、次回は午前中から行ってほしい。【大津緑洋】
- とても interesting でした。【大津緑洋】
- 相手の言っていることが全然わからなくてあせることもあったけど、ベストを尽くせてよかったと思います。ディベートをすればそのことについて深く考えることができると改めて感じたので、これからもディベートに関わっていきたいです。【徳山】
- 今回の経験はとてもしいものになった。普段ふれあうことのない他校の人たちと交流でき、さらに、さまざまな考え方にふれることが出来て、とてもよかった。嫌々やったディベートだったが、やってよかったと本当に思った。【徳山】
- 今までなんとなく行っていたけれど、一生懸命したら、日本語でやるディベートくらい充実したものになるとわかり、面白かった。次の大会までに自分がどこを改善すれば良いかわかったのでこれからの活動に活かしていこうと思う。【下関西】
- エキシビジョンディベートに参加された人たちがすごかったです。私の学校の先輩も選ばれて緊張すると言いながらも焦らずわかりやすいテンポ、文法でディベートしていて憧れ度合いが上がりました。私も来年は参加して見たいです！【下関西】
- 他校の生徒が目の前で活発に意見を言い合っていて同じ高校生でこんなに話せるんだと思い刺激を受けた。【萩】
- 今回初めて英語ディベート大会に参加したことで、自分にとって新たな視点でのものの考え方、そして英語で表現することの難しさと楽しさを知ることが出来ました。最初はうまくできるかわからず、緊張していましたが、今は心から参加してよかったと思っています。今回の英語ディベートで得たことを、その他の議論、そして今後の人生で活かしていきたいと思っています。【萩】
- とても楽しかった。エキシビジョンでは自分が話したいようなお手本のディベートが見ることができたのでよかったです。【防府】
- 来年もぜひ開催してください。【防府】
- 短い時間の中で自分の主張を考えて準備するのは大変だなと思いました。だけど、このような経験を通して、もっと上手にディベートをする方法を学んでいきたいと思いました。【山口】
- 英語で自分の考えを述べるのがこんなに難しいんだと改めて感じる事ができました。わからない単語も出てきてとても悔しい気持ちでいっぱいでした。もっと英語を勉強しようと思いま

した。【山口】

- 他校の自分と同じ学年や年下の学年の人たちが、自分と比べものにならないくらいにスピーキングの能力があったり意見をはきはきと述べたりしている姿を見てとても刺激を受けました。

【山口】

教員の声

- 果敢にディベートに臨む高校生の姿にたくましさを感じました。本校の生徒たちもこれをきっかけに研鑽を積んでいけたらと思います。【下関南】
- 題材の選定がよく、生徒たちの成長が見られた。他校との交流ができた。【徳山】
- 今年度はより多くの学校が参加されていて、他校の生徒と対戦することや、多くの生徒と対戦することや、多くの生徒が英語で話しているのを見ることを通じ、多くの刺激を得ることができたと思います。この交流大会に参加することが部活動のモチベーションになっています。ひとつの目標にしています。ぜひ来年度も実施してください。【下関西】
- 生徒が楽しそうにしていた姿が見られた。他校の生徒と英語を通して交流ができて、生徒にとって少し自信になったのではないかと思います。【萩】